

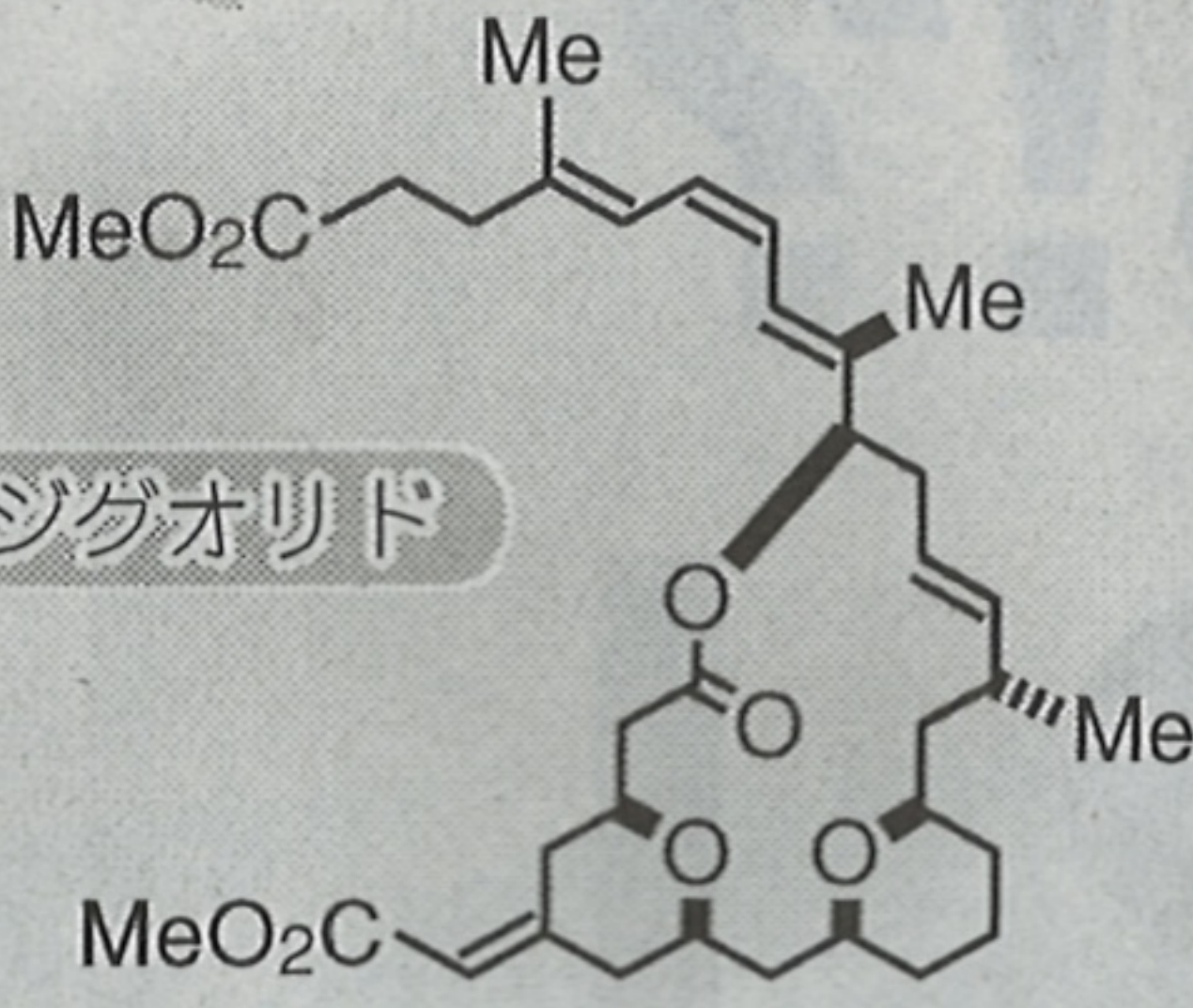
# 抗がん物質 合成成功

## 天然海綿中のイグジグオリド

### 東北大グループ 新薬開発へ応用も

抗がん作用

合成



天然の海綿に含まれ、従来の治療薬などとは異なる抗がん作用を示す有機化合物の人工的な合成に、東北大学院生命科学研究科の不破春彦准教授（天然物合成化学）と佐々木誠教授（同）らのグループが成功した。化合物ががん細胞に働く仕組みをさらに詳しく調べること、新たな抗がん

剤の開発などに結び付く可能性があるという。合成したのは、海綿から抽出され、2006年に発見された有機化合物「イグジグオリド」。構造は20個の炭素原子などで構成する輪から、鎖状の炭素が尻尾のように伸びているのが特徴だ。グループは容器内で複数の有機合成反応を連鎖

的に進行させる独自の手法を応用し、輪の部分を生成。2010年のノーベル化学賞を受賞した鈴木章北海道大名誉教授が開発した「パラジウム触媒クロスカップリング反応」を用い、輪に鎖状の炭素をつなげた。

さらに東北大学院医学系研究科などと共同

で、39種類のがん細胞にイグジグオリドを加えて反応を調査。従来の化合物とは異なる分析結果が得られ、特に肺がん細胞に対して顕著な効果があったという。

転移性乳がん治療薬「ハラベン」のように、近年は海洋生物に含まれる化合物から、がん治療

に有効な物質がいくつも見つかっている。イグジグオリドは海綿からごく微量しか抽出できなかった

ががん細胞に作用するメカニズムを解明できれば新薬開発に生かせるタンパク質が見つかる可能性もある」と話している。

## 「過払い」請求 無償支援へ 大阪府

貸金業者に利息の過払い金を返還請求する債務者の負担軽減に向け、大阪府が4月から無償で請求額の計算を代行する

常は報酬を伴う。府は弁護士法に抵触しないよう「後方支援」にとどめる

困難な府民の救済が主な目的。生活保護や就労支援など福祉サービスも同時に紹介し、生活再建を手助けする狙いだ。

など債務整理に関する総合的な支援事業に乗り出す方向で最終調整していることが、6日分かった。

府は「行政機関として他に例がない試み」と強調し、2011年度の新規事業と位置付けている。

債務者と面会して表計算ソフトを使った過払い

債務整理自体は、弁護士や認定司法書士が債務者と業者間のあっせんなどを行う法律事務で、通

多重債務で返済継続が

税引き前	税引き後
0.158	0.118
0.230	
2.550~3.500	
2.270~3.220	